

宮崎県豚熱対策本部会議（書面開催）

令和8年2月5日

1 協議事項

野生イノシシにおける豚熱への感染確認事例について

2 本部長指示事項

- （１）国や隣県と連携して野生イノシシへの対策を強化するとともに、引き続き、徹底した農場防疫を確実に行之、疾病の発生防止に努めること。
- （２）現場の状況をしっかりと把握して、県民に対して正確な情報を迅速に伝えること。
- （３）関係部局が緊密に連携し、全庁を挙げて対応すること。

野生イノシシにおける豚熱への感染確認事例（80,81,82例目）について

令和8年2月5日
農政水産部畜産局
家畜防疫対策課

1 事例の概要

（1）イノシシの捕獲場所

小林市須木

- 2月2日、綾町の猟友会会員が3頭を捕獲し血液検体を採取
- 翌日、役場を通じ検体を宮崎大学へ送付

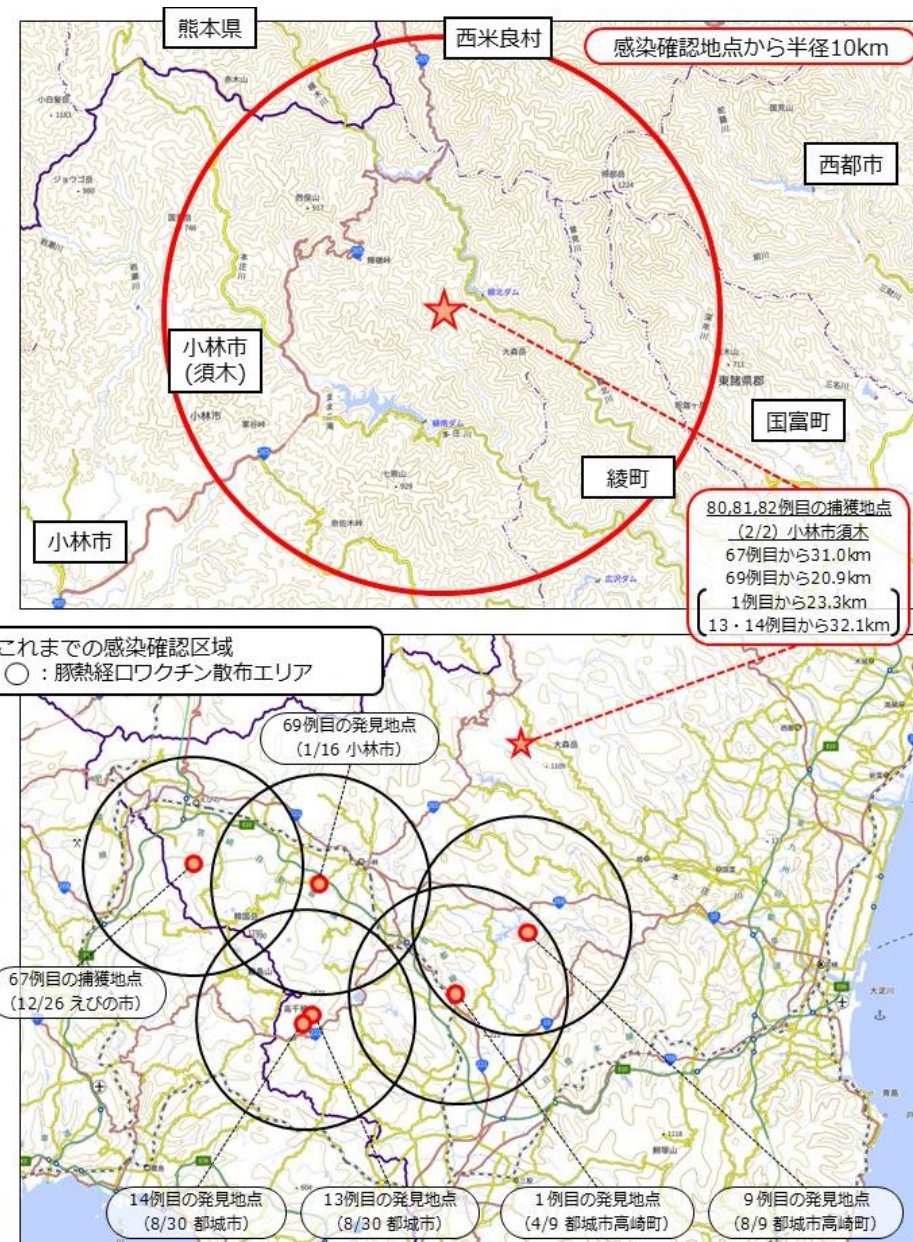
（2）宮崎大学による検査

- 2月5日、宮崎大学でPCR検査を実施し、野外ウイルスと判定

（3）捕獲場所の周辺10km内の養豚農場

なし

※一部熊本県が含まれるが、養豚農場はなし



野生イノシシにおける豚熱への感染確認事例（80,81,82例目）について

2 県の対応

2月5日（木）

16：00 県豚熱対策本部会議の開催（書面）

16：30 検査結果のプレスリリース（県）
家畜防疫情報メールの発信

3 今後の対応

（1）豚熱経口ワクチンの緊急散布

発見地点から半径10kmの区域において経口ワクチンを散布予定

（2）捕獲の強化

半径10kmの区域において貸与わなを増設予定